

部の1対の凹陷もモリモトのほうが強く印され、後角付近の大点刻も大きく、また深い。御蔵島産はモリモトの特徴に合致している。

また、御蔵島産では触角第3節は第4節よりも明らかに長いため、Sasaji (1988) および佐々治 (1989) によって示された検索表による同定では、当初、御蔵島産の個体群はムナグロと同定するのが妥当ではないかと考えていた。しかしながら、モリモチビキカワムシのタイプ標本を調査したところ、第4節より第3節のほうがわずかに長いことが確認された。

体型は下膨れ気味の体型をしているムナグロに対して、モリモチでは体の最大幅となる上翅のほぼ中央から翅端までの側縁部の曲線がより直線的である。この点でも、御蔵島産はモリモチに近い特徴が認められる。

以上のことから総合的に判断して、御蔵島で今回得られた個体群は、モリモチビキカワムシと考えられた。

外部形態から雌雄の区別はしにくい、雄は複眼の突出程度がやや甚だしいようである。体長は本属では普通のことと思われるが、変異の幅があり、御蔵島で得られた個体群の体長は1.5～2.3 mm だった。

謝辞

本研究の一部は、小島弘昭博士を研究代表者とする科研費(24510333)の助成を受けた。同博士に厚くお礼申し上げる。また有益な情報をくださった

た今坂正一と上野輝久の両氏、現地調査にあたって便宜をはかってくださった、みくらしま観光協会の菱井徹、小木万布の両氏、タイプ標本を検討するにあたって助力くださった九州大学総合研究博物館の丸山宗利博士、三重県産のモリモチビキカワムシを検査する機会を与えてくださった生川展行氏、調査全般およびSEMによる観察に協力してくださった国立科学博物館の野村周平博士に謝意を表す。

引用文献

- 今坂正一・海老原元, 1997. 奄美大島で採集した昆虫類. *Korasana*, (64): 1-41.
 今坂正一, 2001. 島原半島の甲虫相 3. 長崎県生物学会誌, (52): 56-73.
 的場 績, 2003. 和歌山県産チビキカワムシ科. *KINOKUNI*, (64): 19.
 生川展行, 2001a. 興味深いチビキカワムシ2種の記録. 北九州の昆虫, 48(1): 3.
 生川展行, 2001b. 三重県のチビキカワムシ科(主に文献記録のまとめ). ひらくら, 45(6): 176-179.
 生川展行・中山 惇・岡 由佳理・横関秀行・稲垣政志・官能健次・市川 太, 2011. 志摩半島の甲虫. 66-195pp., 三重昆虫談話会編, 志摩半島の昆虫.
 生川展行・市橋 甫・天春明吉・市川 太・稲垣政志・官能健次・前川和則・横関秀行, 2006. 熊野灘沿岸照葉樹林の甲虫類, 63-188pp., 三重昆虫談話会編, 熊野灘沿岸照葉樹林の昆虫.
 Sasaji, H. 1988. Contribution to the taxonomy of the superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her adjacent districts, IV. *Memoirs of the Faculty of Education, Fukui University Series II (Natural Science)* 38: 13-48.
 佐々治寛之, 1989. 日本産チビキカワムシ科概説(2). *福井虫報* (4): 25-32.

(2014年2月17日受領, 2014年5月23日受理)

【短報】ニセマルハナノミの富士山における記録

ニセマルハナノミ *Declinia versicolor* Sakai et Satô は, Sakai & Satô (1996) によって, 大陸の *Declinia relictata* とは独立な種であるとして記載されたもので, 日本においては1科1属1種の種である。

採集記録は, 本州および四国の山地(以下, 引用文献がないものは Sakai & Satô (1996) による; 群馬県: 片品村(亀澤, 1998); 埼玉県: 大滝村(新井, 2004); 神奈川県: 丹沢; 山梨県: 須玉町(木元, 1997); 長野県: 北沢峠, 長谷村; 岐阜県: 日和田・千間樽高原; 岡山県(渡辺, 2008); 愛媛県: 小田深山), および北海道(平野, 2005)に局所的に散在している。

筆者は富士山において採集しているので報告する。

1♀, 山梨県富士鳴沢林道, 9. VII. 2009, 大木裕保管。

標本を同定していただいた平野幸彦氏, および

お世話になった日下部良康氏に心からの謝辞を申し上げます。

引用文献

- 新井浩二, 2004. 埼玉県から新たに記録される甲虫類(7). 寄せ蛾記, (114): 1-9.
 平野幸彦, 2005. 北海道にもいたニセマルハナノミ. 月刊むし, (418): 27-28.
 亀澤 洋, 1998. 日光山塊におけるニセマルハナノミの記録. 甲虫ニュース, (124): 16.
 木元達之助, 1997. 奥秩父八丁平における甲虫類の採集記録. 月刊むし, (317): 36.
 Sakai, M. & M. Satô, 1996. The coleopteran family Decliniidae (Elateriformia, Scirtoidea) new to Japan, with description of the second representative. *Elytra*, Tokyo, 24 (1): 103-110.
 渡辺昭彦, 2008. 岡山県でニセマルハナノミを採集. 月刊むし, (445): 42.

(大木 裕 225-0015 横浜市青葉区荏田北 2-17-13)